

2017年3月期 決算実績
2018年3月期 業績予想
概況資料

2017年5月11日

株式会社西武ホールディングス (9024)

<http://www.seibuholdings.co.jp/>

I. エグゼクティブ・サマリー P2

II. 2017年3月期の主な取り組み P7

III. セグメント情報及び営業指標 P10

IV. 決算実績詳細 P22

V. 2018年3月期 連結業績予想 P29

VI. 当期・次期の配当 P35

2017年3月期 決算実績

(金額単位：億円)

	2016/3期 実績	2017/3期 実績	対前期 (増減額・率)		2017/3期 2月予想	対2月予想 (増減額・率)	
営業収益	5,080	5,120	+39	+0.8%	5,126	△5	△0.1%
営業利益	659	624	△34	△5.3%	563	+61	+10.9%
償却前営業利益	1,067	1,081	+14	+1.3%	1,027	+54	+5.3%
経常利益	585	574	△10	△1.8%	513	+61	+12.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	572	475	△96	△16.9%	420	+55	+13.2%

決算実績ポイント

■ 営業収益

ホテルの耐震補強工事にともなう営業休止の影響（△82億円）や天候不良の影響などがあったものの運輸収入は増加し、既存ホテルはRevPARが上昇し、MICEも好調に推移。東京ガーデンテラス紀尾井町の開業効果やハワイの不動産売却も寄与し、増収。

▶ [3ページ](#)

■ 営業利益

ホテルの耐震補強工事にともなう営業休止の影響及び東京ガーデンテラス紀尾井町開業にかかる一過性費用や減価償却費の計上、フリーレント等の要因により減益。

▶ [4ページ](#)

＜西武鉄道・鉄道業＞

運輸収入 前期比+0.7%（定期+1.5%、定期外+0.1%）

▶ [11ページ](#)

＜ホテル業＞

RevPAR 10,980円（前期比+4.0%）
シティ 11,911円（同+2.8%）、リゾート 9,243円（同+7.1%）

▶ [13ページ](#)

■ 経常利益

NWコーポレーション（当期より持分法を適用）にかかる持分法による投資利益の計上（一過性の要因）などにより、営業利益と比較して減益額は縮小。

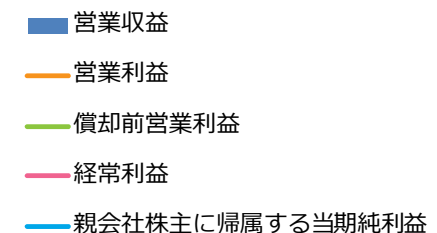
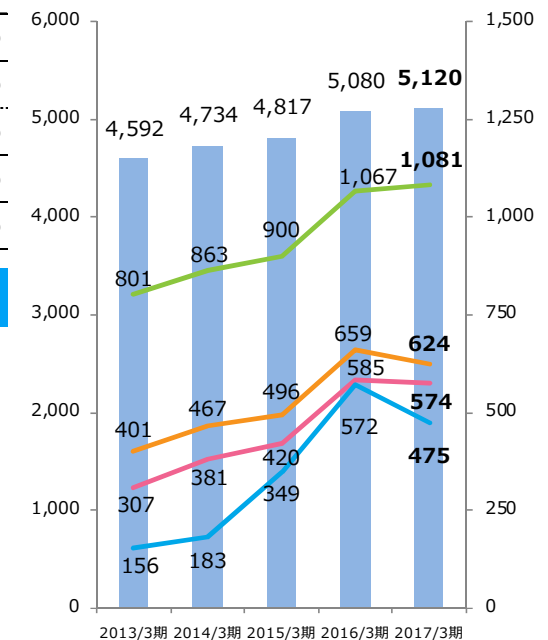
■ 親会社株主に帰属する当期純利益

上記要因に加え、前期に計上した求償債権計上益がなくなったことなどにより、前期比△96億円。

▶ [5ページ](#)

業績の推移

(金額単位：億円)



セグメント別営業収益

(金額単位：億円)

	2016/3期 実績	2017/3期 実績	対前期 (増減額・率)		2017/3期 2月予想	対2月予想 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	1,573	1,564	△ 8	△ 0.6%	1,566	△ 1	△ 0.1%	鉄道業において雇用情勢の堅調な推移や沿線での積極的なイベント活動などにより運輸収入が好調に推移したものの、沿線レジャー業で一部事業所の営業休止及び夏季プール営業の不調や、バス業で前期に計上したバス共通カード未使用分受入額の反動減などにより減収。
ホテル・レジャー事業	1,880	1,885	+5	+0.3%	1,874	+11	+0.6%	東京プリンスホテル及びグランドプリンスホテル高輪の耐震補強工事ともなう営業休止の影響（△82億円）があったものの、顧客層のマーケットチェンジによる既存ホテルのRevPARの上昇に加え、ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町の開業、またMICEの好調な推移などにより増収。
不動産事業	496	537	+40	+8.2%	541	△ 3	△ 0.6%	東京ガーデンテラス紀尾井町や既存の商業施設・オフィス・レジデンスが好調に推移したことなどにより増収。
建設事業	1,049	1,149	+100	+9.5%	1,141	+8	+0.8%	土木工事やリノベーション工事、造園請負工事の増加などにより増収。
ハワイ事業	193	231	+38	+20.0%	231	+0	+0.3%	ハワイ島において不動産の一部を売却したことや、マウナケアビーチホテル・ハバナビーチプリンスホテルが好調に推移したことにより増収。
その他	375	372	△ 3	△ 0.8%	370	+2	+0.6%	西武ライオンズの観客動員数が増加したものの、2017年3月の公式戦主催試合の減少により減収。
調整額	△ 488	△ 621	△ 133	—	△ 597	△ 24	—	主にグループ内工事の増加
連結数値	5,080	5,120	+39	+0.8%	5,126	△ 5	△ 0.1%	

セグメント別営業利益・償却前営業利益

■ 営業利益

(金額単位：億円)

	2016/3期 実績	2017/3期 実績	対前期 (増減額・率)		2017/3期 2月予想	対2月予想 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	258	268	+9	+3.6%	262	+6	+2.3%	鉄道業において電気動力費が減少したことなどにより増益。
ホテル・レジャー事業	206	140	△ 65	△ 31.7%	130	+10	+8.4%	ホテルの耐震補強工事ともなう営業休止の影響のほか、ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町の開業経費の計上や退職給付費用が増加したことにより減益。対予想では、宴会部門や宿泊部門の増収のほか、コストの減少により増益。
不動産事業	145	78	△ 66	△ 45.7%	70	+8	+12.7%	増収による増益があったものの、東京ガーデンテラス紀尾井町の開業にかかる一時的な費用や減価償却費の計上、フリーレント等の要因により減益。対予想では、コストの減少により増益。
建設事業	36	98	+61	+165.9%	62	+36	+58.5%	増収による増益に加え、一過性の高利益率工事があったことなどにより対前期及び対予想ともに増益。
ハワイ事業	△ 8	42	+50	—	43	△ 0	△ 1.2%	増収による増益。
その他	10	7	△ 3	△ 33.5%	4	+3	+80.2%	減収による減益に加え、西武ライオンズにおいてファン層の拡大にかかる経費が増加したことにより減益。
調整額	9	△ 11	△ 20	—	△ 8	△ 3	—	
連結数値	659	624	△ 34	△ 5.3%	563	+61	+10.9%	

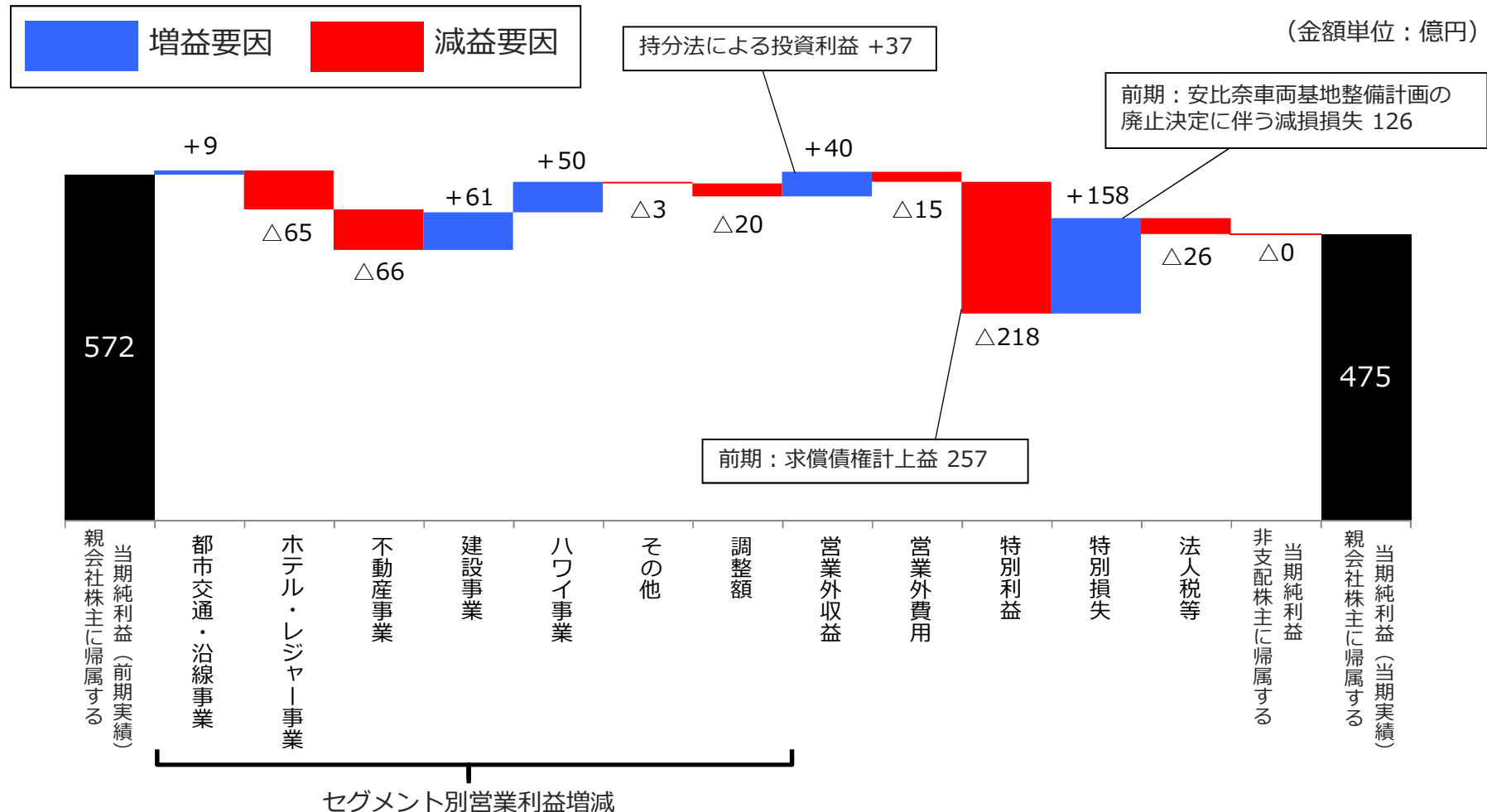
■ 償却前営業利益

(金額単位：億円)

	2016/3期 実績	2017/3期 実績	対前期 (増減額・率)		2017/3期 2月予想	対2月予想 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	467	474	+7	+1.6%	471	+3	+0.8%	
ホテル・レジャー事業	320	269	△ 51	△ 15.9%	260	+9	+3.7%	
不動産事業	187	162	△ 25	△ 13.6%	154	+8	+5.2%	
建設事業	40	102	+61	+152.1%	66	+36	+54.7%	
ハワイ事業	12	60	+48	+390.2%	60	+0	+0.7%	
その他	36	33	△ 3	△ 8.8%	31	+2	+8.6%	
調整額	1	△ 21	△ 23	—	△ 15	△ 6	—	
連結数値	1,067	1,081	+14	+1.3%	1,027	+54	+5.3%	

親会社株主に帰属する当期純利益 増減要因

ホテル・レジャー事業や不動産事業における一過性要因などにより営業利益は減益。そのほか、前期に求償債権計上益があったことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比 $\Delta 96$ 億円（ $\Delta 16.9\%$ ）となった。



I. エグゼクティブ・サマリー P2

II. 2017年3月期の主な取り組み P7

III. セグメント情報及び営業指標 P10

IV. 決算実績詳細 P22

V. 2018年3月期 連結業績予想 P29

VI. 当期・次期の配当 P35

2017年3月期の主な取り組み

全体

- ・ 一大プロジェクト「東京ガーデンテラス紀尾井町」のグランドオープン
- ・ 外国人向け会員組織「SEIBU PRINCE CLUB emi」のサービス開始
- ・ 西武ホールディングスの株主優待制度を拡充
- ・ 訪日外国人観光客の誘客促進に向けた「2016西武グループメディアFAMツアー」を開催
- ・ 西武グループ 再就職支援ネットワークの構築などダイバーシティを推進

※FAMツアーとは「familiarization (=慣れ親しんでいただく) ツアー」の略で、現地視察ツアーのこと。



東京ガーデンテラス紀尾井町

都市交通・沿線事業

- ・ 観光電車【西武 旅するレストラン「52席の至福」】の運行開始
- ・ 新型通勤車両「40000系」を使用した有料座席指定列車「S-TRAIN」の運行を開始
- ・ 特急レッドアロー号の車両内に「SEIBU FREE Wi-Fi」を導入
- ・ 西武秩父駅のリニューアル工事を実施
- ・ 「西武秩父駅前温泉 祭の湯」を2017年4月24日に開業
- ・ 事業の発展・地域社会への貢献のため、KTMB（マレーシア鉄道公社）と「姉妹鉄道協定」を締結
- ・ 「秩父祭の屋台行事と神楽」「川越氷川祭の山車行事」のユネスコ無形文化遺産登録を記念し、ラッピング特急電車「プラチナ・エクスプレス」を運行
- ・ 西武鉄道テレビCM「2016年秋冬・とびら編」放映
- ・ 西武バス「学トク定期券」のI C化
- ・ 西武鉄道(株)が(株)横浜アリーナの株式の一部を取得し、子会社化



新型通勤車両「40000系」



西武秩父駅 駅舎外観

2017年3月期の主な取り組み

ホテル・レジャー事業

- ・「ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町」オープン
- ・「グランドプリンスホテル高輪」「サンシャインシティプリンスホテル」リニューアルオープン
- ・「ザ・プリンス パークタワー東京」プレミアムクラブフロアをリニューアル
- ・「東京プリンスホテル」「大磯プリンスホテル」「グランドプリンスホテル京都」「びわ湖大津プリンスホテル」「ザ・プリンス 箱根芦ノ湖」「箱根湯の花プリンスホテル」「芦ノ湖畔蛸川温泉 龍宮殿」でリニューアル工事を実施
- ・海外営業拠点となる「ニューヨークオフィス」「シドニーオフィス」を開業
- ・(株)横浜八景島が台湾桃園市で日本企業初となる海外水族館事業に着手（2020年1月開業予定）
- ・名古屋の新ホテル名称が「名古屋プリンスホテル スカイトワー」に決定（2017年10月開業予定）



ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町

不動産事業

- ・東京ガーデンテラス紀尾井町において、オフィス、商業施設「紀尾井テラス」、住宅棟「紀尾井レジデンス」オープン
- ・駅ナカ商業施設「エミオ田無」「エミオ東久留米」リニューアルオープン
- ・「軽井沢・プリンスショッピングプラザ」で店舗独立型免税手続きサービスを開始
- ・西武新宿駅の高架下商業施設「アメリカン・ブルバード」が「Brick St.」としてリニューアルオープン
- ・駅ナカ商業施設「エミオ石神井公園」のグランドオープンに伴い、石神井公園駅周辺開発計画「エミナード石神井公園」が完成。
- ・駅チカ賃貸住宅「エミリブ石神井公園」の入居を開始
- ・「所沢駅東口駅ビル計画」起工式を実施（第Ⅰ期：2018年春開業予定）



所沢駅東口駅ビル計画
イメージ

ハワイ事業

- ・ハプナビーチプリンスホテルの不動産の一部を売却
- ・ハワイプリンスホテルワイキキの全面改装完了及び、ホテル名称を「Prince Waikiki」としてリニューアルオープン（2017年4月1日）



Prince Waikiki 客室

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2017年3月期の主な取り組み	P7
III. セグメント情報及び営業指標	P10
IV. 決算実績詳細	P22
V. 2018年3月期 連結業績予想	P29
VI. 当期・次期の配当	P35

都市交通・沿線事業 概況

(金額単位：百万円)

	2016/3期	2017/3期	対前期 (増減額・率)		摘要
営業収益	157,359	156,494	△ 865	△ 0.6%	
鉄道業	104,939	105,123	+183	+0.2%	雇用情勢の堅調な推移や沿線での積極的なイベント活動などにより運輸収入が好調に推移し増収。
バス業	25,610	25,531	△ 79	△ 0.3%	路線バスは好調に推移したものの、前期に計上したバス共通カード未使用分受入額の反動減により減収。
沿線レジャー業	21,724	20,798	△ 925	△ 4.3%	一部事業所の営業休止及び夏季プール営業の不調により減収。
その他	5,085	5,041	△ 44	△ 0.9%	
営業利益	25,884	26,804	+919	+3.6%	鉄道業において電気動力費が減少したことなどにより増益。
償却前営業利益	46,738	47,489	+750	+1.6%	

都市交通・沿線事業 鉄道業の運輸成績

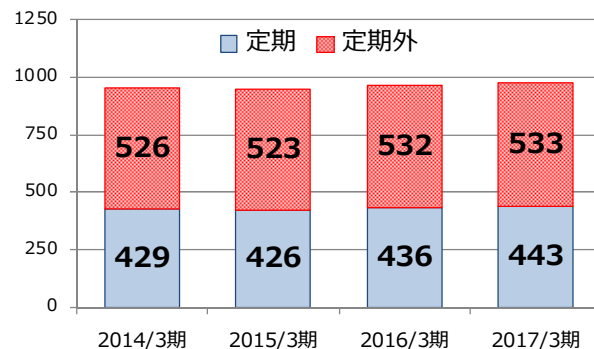
輸送人員・旅客運輸収入（西武鉄道株式会社）

（人員単位：千人、金額単位：百万円）

	2014/3期	2015/3期	対前期 増減率	2016/3期	対前期 増減率	2017/3期	対前期 増減率
輸送人員	定期	391,305	△ 0.3%	399,516	+2.4%	405,526	+1.5%
	定期外	241,099	△ 1.1%	243,176	+2.0%	242,893	△ 0.1%
	計	632,405	△ 0.6%	642,693	+2.3%	648,420	+0.9%
旅客運輸 収入	定期	42,914	△ 0.6%	43,683	+2.4%	44,333	+1.5%
	定期外	52,649	△ 0.5%	53,286	+1.7%	53,356	+0.1%
	計	95,563	△ 0.5%	96,969	+2.0%	97,690	+0.7%
運輸雑収	4,127	4,098	△ 0.7%	4,160	+1.5%	4,021	△ 3.3%
収入合計	99,691	99,147	△ 0.5%	101,130	+2.0%	101,711	+0.6%

旅客運輸収入の推移

（単位：億円）



■ 定期
雇用情勢の堅調な推移により、前期比+1.5%。

■ 定期外
台風など天候不良の影響を受けたものの、沿線での積極的なイベント活動や特急料金の見直しを実施し前期比+0.1%。

ホテル・レジャー事業 概況

(金額単位：百万円)

	2016/3期	2017/3期	対前期 (増減額・率)		摘要
営業収益	188,021	188,544	+522	+0.3%	
ホテル業（シティ）	106,820	105,319	△ 1,501	△ 1.4%	東京プリンスホテル及びグランドプリンスホテル高輪の耐震補強工事ともなう営業休止の影響（△82億円）があったものの、顧客層のマーケットチェンジによる既存ホテルのRevPARの上昇に加え、ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町の開業、またMICEの好調な推移などにより増収。
ホテル業（リゾート）	38,308	38,826	+518	+1.4%	函館大沼や箱根エリアなど、前期にバリューアップ投資を実施したホテルを中心にRevPARが上昇し増収。
ゴルフ場業	12,227	12,266	+38	+0.3%	
その他	30,665	32,132	+1,467	+4.8%	2015年7月のアクアパーク品川のリニューアルなどにより増収。
営業利益	20,628	14,092	△ 6,535	△ 31.7%	ホテルの耐震補強工事ともなう営業休止の影響のほか、ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町の開業経費の計上や退職給付費用が増加したことにより減益。
償却前営業利益	32,069	26,969	△ 5,100	△ 15.9%	

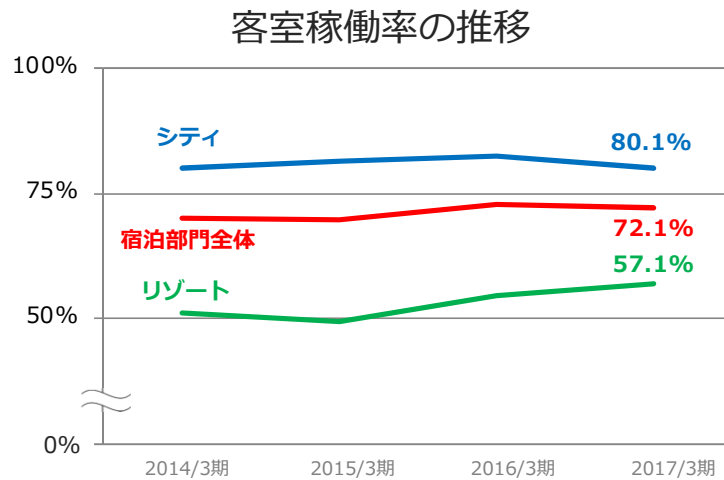
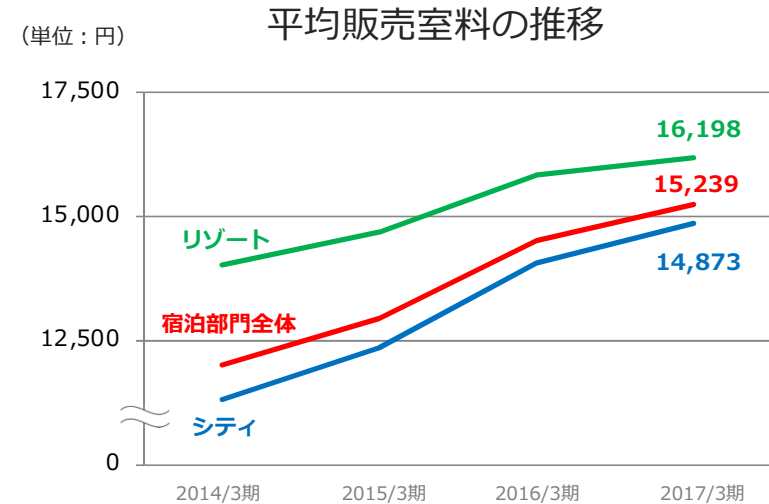
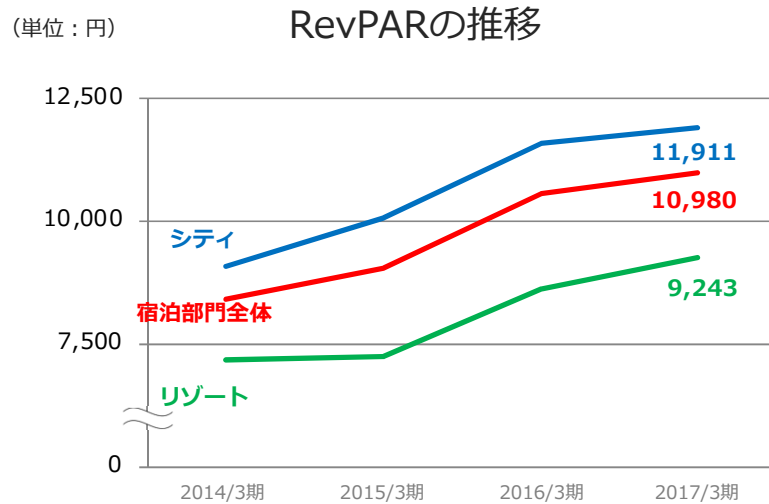
ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

ホテル業の営業指標（株式会社プリンスホテル）

（RevPAR・平均販売室料：円）

		2014/3期	2015/3期	対前期	2016/3期	対前期	2017/3期	対前期
RevPAR	シティ	9,083	10,056	+972	11,588	+1,532	11,911	+323
	高輪・品川エリア	9,410	10,543	+1,133	12,500	+1,957	12,873	+373
	リゾート	7,182	7,245	+64	8,626	+1,381	9,243	+616
	軽井沢エリア	14,117	16,432	+2,315	18,824	+2,392	19,376	+552
	宿泊部門全体	8,426	9,045	+619	10,562	+1,517	10,980	+418
平均販売室料	シティ	11,325	12,370	+1,045	14,054	+1,684	14,873	+819
	高輪・品川エリア	11,076	12,427	+1,351	14,429	+2,002	14,808	+379
	リゾート	14,020	14,694	+674	15,824	+1,130	16,198	+375
	軽井沢エリア	28,156	30,512	+2,356	31,619	+1,107	30,894	△ 725
	宿泊部門全体	12,005	12,960	+955	14,513	+1,552	15,239	+726
客室稼働率	シティ	80.2%	81.3%	+1.1pt	82.5%	+1.2pt	80.1%	△ 2.4pt
	高輪・品川エリア	85.0%	84.8%	△ 0.2pt	86.6%	+1.8pt	86.9%	+0.3pt
	リゾート	51.2%	49.3%	△ 1.9pt	54.5%	+5.2pt	57.1%	+2.5pt
	軽井沢エリア	50.1%	53.9%	+3.7pt	59.5%	+5.7pt	62.7%	+3.2pt
	宿泊部門全体	70.2%	69.8%	△ 0.4pt	72.8%	+3.0pt	72.1%	△ 0.7pt

ホテル・レジヤ事業 営業指標の推移

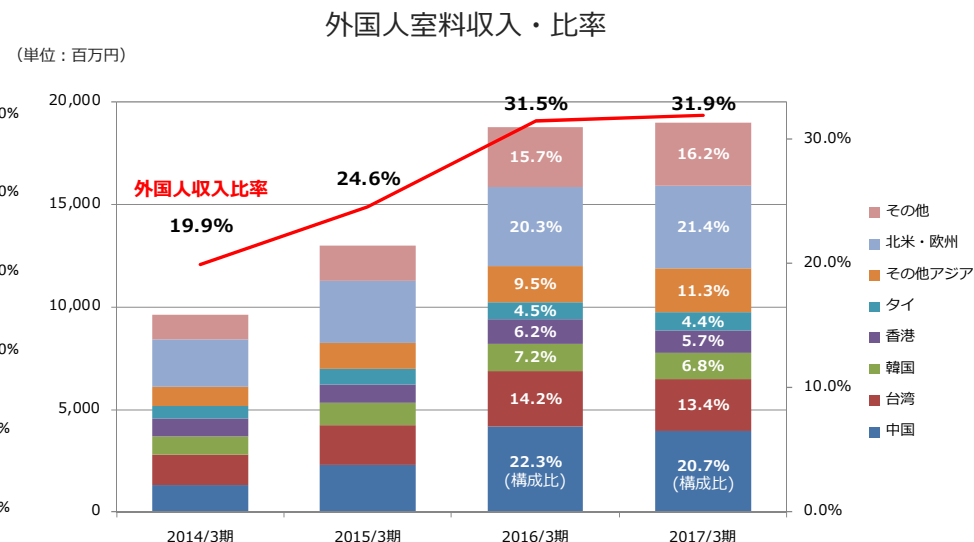
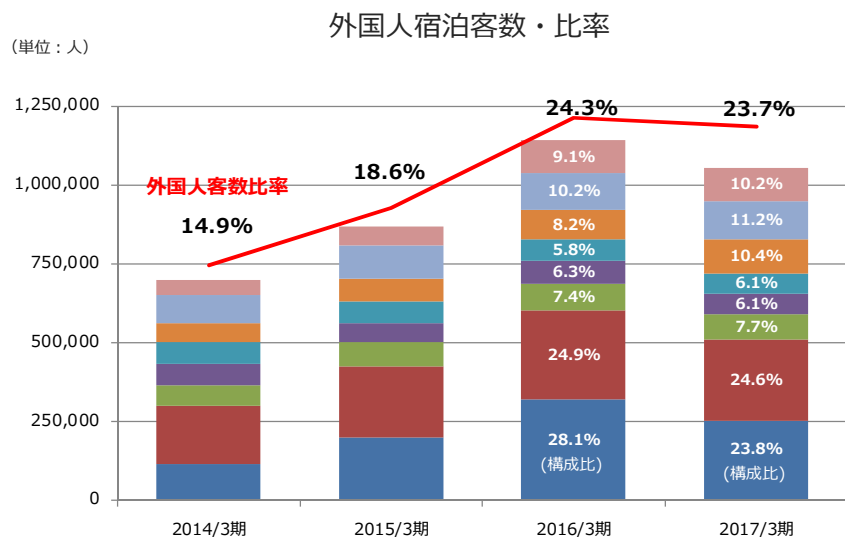


高単価な客層へのマーケットチェンジをはかったことにより平均販売室料が上昇し、RevPARが上昇。

ホテル・レジャー事業 インバウンドの動向① (宿泊客数・室料収入)

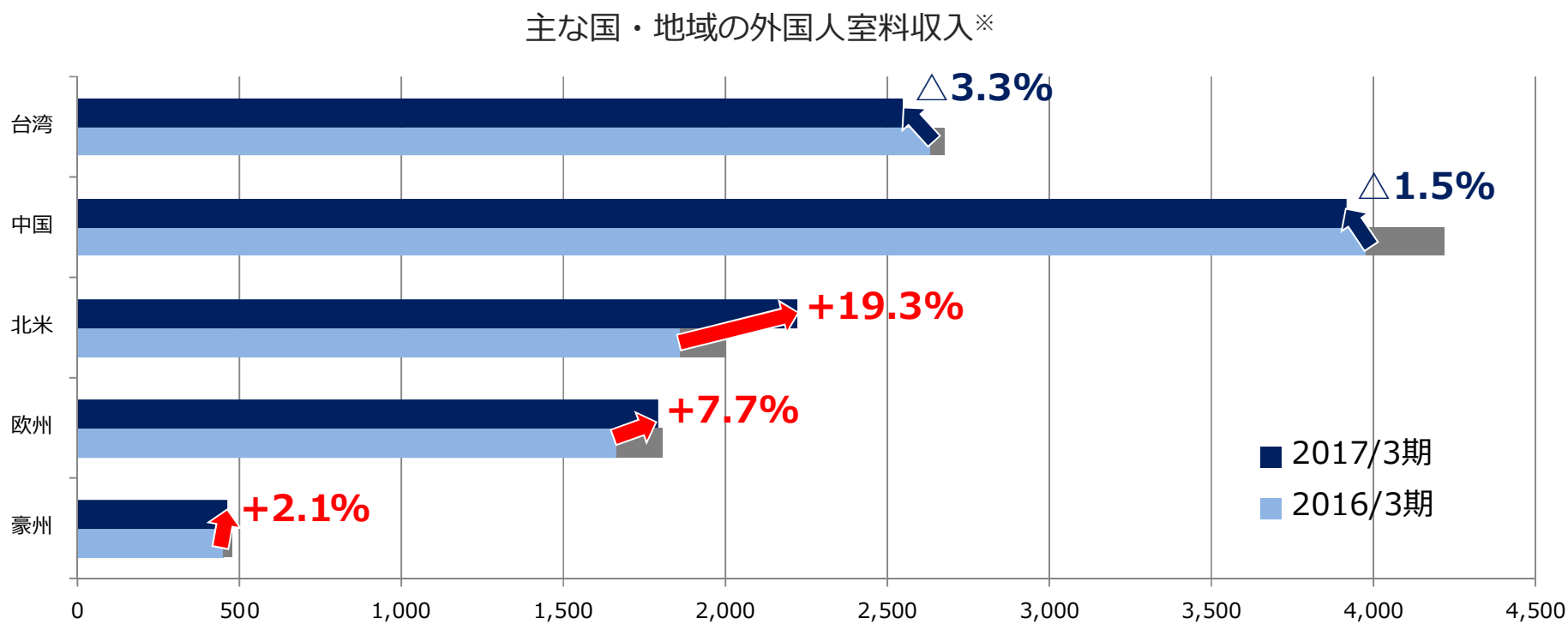
(人員単位：人、金額単位：百万円)

	2014/3期	2015/3期	対前期	2016/3期	対前期	2017/3期	対前期
邦人客	4,000,308	3,816,942	△ 183,366	3,565,316	△ 251,626	3,401,013	△ 164,303
宿泊客の内訳 外国人客	702,364	871,174	+168,810	1,142,633	+271,459	1,056,658	△ 85,975
計	4,702,672	4,688,116	△ 14,556	4,707,949	+19,833	4,457,671	△ 250,278
室料収入 外国人客	9,638	13,007	+3,369	18,777	+5,769	18,999	+222



ホテル・レジャー事業 インバウンドの動向② (主な国・地域の外国人室料収入)

マーケットチェンジの一例として、室料収入ベース※で台湾(△3.3%)、中国(△1.5%)が減少する一方、**北米(+19.3%)、欧州(+7.7%)、豪州(+2.1%)**など、より単価の高い地域が着実に増加



※耐震補強工事にとまなう営業休止の影響(グラフ内の■)を除いたベース

(単位:百万円)

不動産事業 概況

(金額単位：百万円)

	2016/3期	2017/3期	対前期 (増減額・率)		摘要
営業収益	49,690	53,771	+4,080	+8.2%	
不動産賃貸業	31,265	35,447	+4,181	+13.4%	東京ガーデンテラス紀尾井町や既存の商業施設・オフィス・レジデンスが好調に推移したことなどにより増収。
その他	18,424	18,323	△100	△0.5%	
営業利益	14,528	7,889	△6,639	△45.7%	増収による増益があったものの、東京ガーデンテラス紀尾井町の開業にかかる一時的な費用や減価償却費の計上、フリーレント等の要因により減益。
償却前営業利益	18,760	16,201	△2,559	△13.6%	

(面積：千㎡)

		2014/3期	2015/3期	対前期	2016/3期	対前期	2017/3期	対前期
建物賃貸物件	商業施設	215	229	+13	234	+5	239	+4
の期末貸付面積	オフィス・住宅	59	60	+0	60	+0	166	+106
建物賃貸物件	商業施設	1.0%	1.1%	+0.1pt	1.0%	△0.1pt	0.7%	△0.3pt
の期末空室率	オフィス・住宅	6.7%	10.0%	+3.3pt	14.0%	+4.0pt	3.1%	△10.9pt

建設事業 概況

(金額単位：百万円)

	2016/3期	2017/3期	対前期 (増減額・率)		摘要
営業収益	104,983	114,996	+10,012	+9.5%	
建設業	79,484	88,578	+9,094	+11.4%	土木工事やリノベーション工事の増加などにより増収。
その他	25,498	26,417	+918	+3.6%	造園請負工事の増加などにより増収。
営業利益	3,694	9,825	+6,130	+165.9%	増収による増益に加え、一過性の高利益率工事があったことなどにより増益。
償却前営業利益	4,048	10,206	+6,158	+152.1%	

建設業の受注高の状況

(金額単位：百万円)

	2014/3期	2015/3期	対前期	2016/3期	対前期	2017/3期	対前期
期首繰越高	58,012	62,321	+4,309	84,335	+22,014	99,069	+14,733
期中受注高	73,057	92,037	+18,981	94,045	+2,007	79,080	△14,964
期末繰越高	62,321	84,335	+22,014	99,069	+14,733	89,755	△9,313

ハワイ事業 概況

(金額単位：百万円)

	2016/3期	2017/3期	対前期		摘要
			(増減額)	(率)	
営業収益	19,303	23,167	+3,864	+20.0%	ハワイ島において不動産の一部を売却したことや、マウナケアビーチホテル・ハプナビーチプリンスホテルが好調に推移したことにより増収。
営業利益	△ 836	4,250	+5,086	—	増収による増益。
償却前営業利益	1,233	6,044	+4,811	+390.2%	

ホテルの客室稼働率、平均販売室料

	2014/3期	2015/3期	対前期	2016/3期	対前期	2017/3期	対前期
客室稼働率	69.7%	72.6%	+2.9pt	73.4%	+0.8pt	69.2%	△ 4.2pt
平均販売室料 (円)	19,639	23,610	+3,971	29,146	+5,536	27,815	△ 1,331
平均販売室料 (米ドル)	225.74	231.47	+5.73	243.29	+11.82	252.86	+9.57

その他 概況

(金額単位：百万円)

	2016/3期	2017/3期	対前期 (増減額・率)		摘要
営業収益	37,543	37,228	△ 314	△ 0.8%	西武ライオンズの観客動員数が増加したものの、2017年3月の公式戦主催試合の減少により減収。
営業利益	1,083	720	△ 362	△ 33.5%	減収による減益に加え、西武ライオンズにおいてファン層の拡大にかかる経費が増加したことにより減益。
償却前営業利益	3,691	3,366	△ 324	△ 8.8%	

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2017年3月期の主な取り組み	P7
III. セグメント情報及び営業指標	P10
IV. 決算実績詳細	P22
V. 2018年3月期 連結業績予想	P29
VI. 当期・次期の配当	P35

連結損益計算書サマリー

(金額単位：百万円)

	2016/3期	2017/3期	対前期	摘要
営業収益	508,081	512,009	+3,927	都市交通・沿線：△8億円、ホテル・レジャー：+5億円 不動産：+40億円、建設：+100億円、ハワイ：+38億円、 その他：△3億円
営業利益	65,956	62,456	△3,499	都市交通・沿線：+9億円、ホテル・レジャー：△65億円 不動産：△66億円、建設：+61億円、ハワイ：+50億円、 その他：△3億円
営業外収益	2,845	6,871	+4,026	持分法による投資利益 +37億円（23ページを参照）
営業外費用	10,275	11,856	+1,580	支払利息 +12億円
経常利益	58,525	57,472	△1,053	
特別利益	30,919	9,066	△21,853	前期：求償債権計上益 257億円
特別損失	23,864	8,005	△15,858	減損損失 当期：7億円、前期：142億円
税金等調整前当期純利益	65,581	58,533	△7,047	
法人税等	8,293	10,898	+2,605	法人税、住民税及び事業税 +7億円 法人税等調整額 +18億円（当期：プリンスホテルにおける繰延税金資産 の計上 △40億円、前期：税率変更による繰延税金負債の取崩し △54億 円）
当期純利益	57,288	47,634	△9,653	
非支配株主に帰属する当期純利益	80	70	△10	
親会社株主に帰属する当期純利益	57,207	47,564	△9,643	

営業外・特別損益

(金額単位：百万円)

	2016/3期	2017/3期	対前期	摘要
営業利益	65,956	62,456	△ 3,499	
営業外収益	2,845	6,871	+4,026	
受取利息・配当金	697	757	+59	
バス路線運行維持費補助金	819	842	+22	
持分法による投資利益	—	3,729	+3,729	当期よりNWコーポレーションが持分法適用関連会社となったことに伴う計上（一過性の要因）
その他営業外収益	1,327	1,541	+214	
営業外費用	10,275	11,856	+1,580	
支払利息	9,464	10,693	+1,229	
持分法による投資損失	83	—	△ 83	
その他営業外費用	727	1,162	+435	
経常利益	58,525	57,472	△ 1,053	
特別利益	30,919	9,066	△ 21,853	
固定資産売却益	1,302	3,543	+2,240	当期：土地売却（新杉田）
工事負担金等受入額	2,896	2,891	△ 5	
補助金収入	112	343	+230	
投資有価証券売却益	234	21	△ 212	
求償債権計上益	25,775	—	△ 25,775	旧経営陣に対する求償債権の計上
段階取得に係る差益	—	1,501	+1,501	(株)横浜アリーナ連結子会社化に伴う既保有株式の評価差額
その他特別利益	597	765	+167	
特別損失	23,864	8,005	△ 15,858	
減損損失	14,215	760	△ 13,455	前期：安比奈車両基地整備計画の廃止決定に伴う減損損失 126億円
固定資産売却損	146	17	△ 128	
固定資産除却損	2,011	3,166	+1,155	
工事負担金等圧縮額	2,846	2,739	△ 106	
固定資産圧縮損	93	323	+229	
投資有価証券売却損	4	0	△ 4	
投資有価証券評価損	0	0	+0	
訴訟損失	3,539	62	△ 3,476	前期：判決確定に伴う訴訟関連費用の計上
その他特別損失	1,007	934	△ 72	
税金等調整前当期純利益	65,581	58,533	△ 7,047	

連結貸借対照表サマリー

(金額単位：百万円)

	2016/3期 期末	2017/3期 期末	対前期	摘要
資産 合計	1,553,092	1,627,868	+74,776	
流動資産	136,813	126,702	△ 10,111	現金及び預金 +6,654 その他 △19,035 (求償債権の回収など)
固定資産	1,416,278	1,501,166	+84,887	有形・無形固定資産 +94,580 退職給付に係る資産 △9,578
負債 合計	1,160,443	1,267,735	+107,292	
流動負債	317,855	366,590	+48,735	短期借入金の増加 +23,892 前受金 +5,463 その他 +18,935 (設備投資未払金の増加)
固定負債	842,587	901,144	+58,556	長期借入金の増加 +33,586 社債 +10,000 持分法適用に伴う負債 +17,277 (NWコーポレーション持分法適用)
純資産 合計	392,649	360,133	△ 32,515	
自己資本	391,415	355,322	△ 36,093	自己株式 △62,447 (NWコーポレーションが保有する当社株式の当社グループ持分相当分を自己株式に計上したほか、自己株式の取得を実施) 退職給付に係る調整累計額 △13,317 利益剰余金 +41,176
有利子負債 期末残高	843,745	909,104	+65,358	
ネット有利子負債	821,328	880,032	+58,704	東京ガーデンテラス紀尾井町新築工事代の支払など
自己資本比率	25.2%	21.8%	△ 3.4pt	
D/Eレシオ (倍)	2.2	2.6	+0.4	
ネット有利子負債 / EBITDA倍率 (倍)	7.7	8.1	+0.4	

連結キャッシュ・フロー計算書

(金額単位：百万円)

	2016/3期	2017/3期	対前期	摘要
営業活動キャッシュフロー	75,757	92,418	+16,660	前期：判決確定に伴う損害賠償金の支払など
投資活動キャッシュフロー	△ 76,334	△ 133,931	△ 57,596	
うち有形及び無形固定資産の取得による支出	△ 79,662	△ 135,318	△ 55,656	東京ガーデンテラス紀尾井町竣工 ホテルの耐震補強工事及び改装など
うち有形及び無形固定資産の売却による収入	1,212	4,537	+3,324	
うち工事負担金等受入による収入	5,149	6,560	+1,410	
財務活動キャッシュフロー	△ 877	48,162	+49,040	借入金の増加や社債の発行など
現金及び現金同等物の期首残高	22,596	21,085	△ 1,511	
現金及び現金同等物の期末残高	21,085	27,551	+6,466	
フリーキャッシュフロー	△ 576	△ 41,513	△ 40,936	
有利子負債残高	843,745	909,104	+65,358	

セグメント別設備投資

(金額単位：百万円)

	2016/3期	2017/3期	対前期	摘要
都市交通・沿線事業	25,779	27,342	+1,563	<ul style="list-style-type: none"> ・中井～野方駅間連続立体交差事業（継続中） ・東村山駅付近連続立体交差事業（継続中） ・新型通勤車両「40000系」新造
ホテル・レジャー事業	14,707	32,567	+17,860	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震補強工事及び改装（東京プリンスホテル、グランドプリンスホテル高輪） ・ザ・プリンスギャラリー東京紀尾井町開業
不動産事業	30,656	73,107	+42,451	<ul style="list-style-type: none"> ・東京ガーデンテラス紀尾井町開業 ・（仮称）西武鉄道池袋ビル（継続中） ・所沢駅東口駅ビル（継続中） ・石神井公園駅周辺開発計画
建設事業	628	441	△ 186	
ハワイ事業	1,681	7,453	+5,771	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンスワイキキ 全面改装（継続中）
その他	2,746	3,090	+343	<ul style="list-style-type: none"> ・近江事業 守山駅前複合商業施設（継続中）
調整額	4,410	△ 5,087	△ 9,497	グループ会社間取引の調整
設備投資 合計	80,609	138,915	+58,305	

セグメント別減価償却費

(金額単位：百万円)

	2016/3期	2017/3期	対前期	摘要
都市交通・沿線事業	20,853	20,684	△ 168	
ホテル・レジャー事業	11,441	12,876	+1,435	ホテルのリニューアル実施による増加
不動産事業	4,232	8,312	+4,079	東京ガーデンテラス紀尾井町竣工による増加
建設事業	353	381	+27	
ハワイ事業	2,069	1,794	△ 275	
その他	2,607	2,645	+38	
調整額	△ 812	△ 1,036	△ 223	
減価償却費 合計	40,745	45,658	+4,912	

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2017年3月期の主な取り組み	P7
III. セグメント情報及び営業指標	P10
IV. 決算実績詳細	P22
V. 2018年3月期 連結業績予想	P29
VI. 当期・次期の配当	P35

2018年3月期 連結業績予想

(金額単位：億円)	2017/3期	2018/3期 予想	対前期	2017/3期 2Q	2018/3期 2Q予想	対前年同期
営業収益	5,120	5,420	+5.9%	2,511	2,698	+7.4%
営業利益	624	632	+1.2%	300	352	+17.0%
償却前営業利益	1,081	1,142	+5.6%	518	598	+15.4%
経常利益	574	546	△5.0%	293	307	+4.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	475	408	△14.2%	251	219	△13.0%

■ 営業収益 5,420億円

都市交通・沿線事業における鉄道運輸収入の増加や西武秩父駅前温泉祭の湯の開業、ホテル・レジャー事業におけるバリューアップ投資の効果発現やレベニューマネジメントの強化によるRevPARの上昇、不動産事業における東京ガーデンテラス紀尾井町の賃料収入増加などにより増収。

■ 営業利益 632億円

原油価格の上昇にともなう電気動力費や燃料費、水道光熱費等の経費が増加するものの、増収により増益。

■ 経常利益 546億円

2017年3月期に一過性の持分法による投資利益を計上したことなどにより減益。

■ 親会社株主に帰属する当期純利益

408億円

経常利益の減少に加え、2017年3月期に計上した西武鉄道(株)における固定資産売却益がなくなることなどにより減益。

(注) 連結業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2018年3月期 連結業績予想

セグメント別 営業収益	2017/3期	2018/3期 予想	対前期	2017/3期 2Q	2018/3期 2Q予想	対前年同期	(金額単位：億円)
	都市交通・沿線事業	1,564	1,629	+4.1%	784	827	
ホテル・レジャー事業	1,885	2,107	+11.8%	929	1,051	+13.1%	
不動産事業	537	609	+13.3%	261	287	+9.6%	
建設事業	1,149	1,074	△6.6%	475	490	+3.0%	
ハワイ事業	231	195	△15.8%	81	85	+4.8%	
その他	372	382	+2.6%	226	234	+3.1%	
調整額	△ 621	△ 576	-	△ 248	△ 276	-	

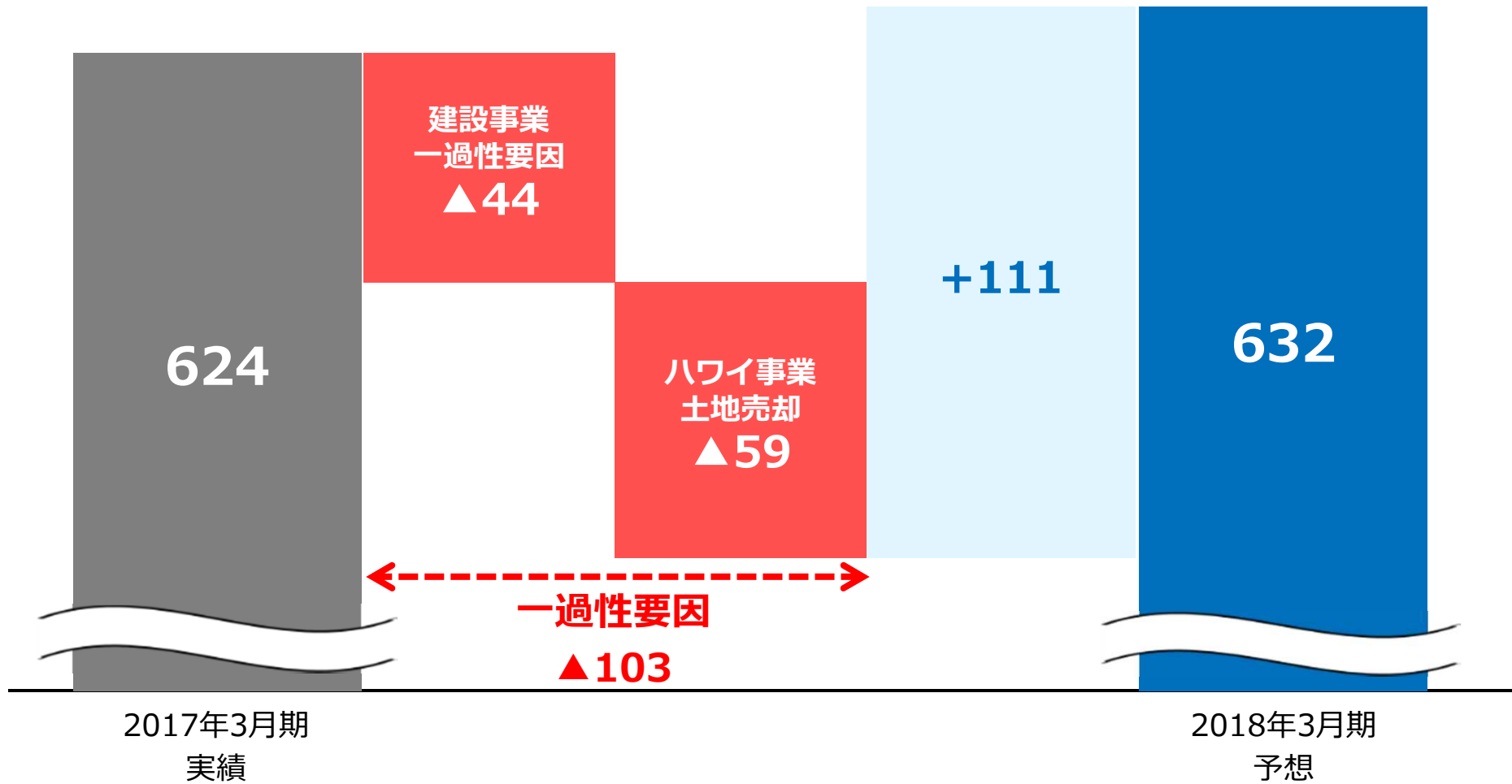
セグメント別 営業利益	2017/3期	2018/3期 予想	対前期	2017/3期 2Q	2018/3期 2Q予想	対前年同期
	都市交通・沿線事業	268	268	△0.0%	158	165
ホテル・レジャー事業	140	190	+34.8%	79	98	+22.7%
不動産事業	78	142	+80.0%	29	67	+130.8%
建設事業	98	40	△59.3%	19	10	△49.2%
ハワイ事業	42	△ 4	-	△ 5	△ 5	-
その他	7	3	△58.3%	21	20	△5.2%
調整額	△ 11	△ 7	-	△ 1	△ 3	-

セグメント別 償却前営業利益	2017/3期	2018/3期 予想	対前期	2017/3期 2Q	2018/3期 2Q予想	対前年同期
	都市交通・沿線事業	474	484	+1.9%	258	269
ホテル・レジャー事業	269	342	+26.8%	139	171	+22.3%
不動産事業	162	235	+45.1%	67	113	+66.2%
建設事業	102	45	△55.9%	21	12	△44.0%
ハワイ事業	60	18	△70.2%	3	5	+30.9%
その他	33	32	△5.0%	33	34	+1.0%
調整額	△ 21	△ 14	-	△ 6	△ 6	-

2018年3月期 営業利益の増減について（対前期）

(単位：億円)

ホテル・レジヤ事業
および不動産事業の成長
など



2018年3月期 セグメント別設備投資

(金額単位：百万円)

	2017/3期	2018/3期 予想	対前期	摘要
都市交通・沿線事業	27,342	33,700	+6,358	<ul style="list-style-type: none"> ・中井～野方駅間連続立体交差事業（継続中） ・東村山駅付近連続立体交差事業（継続中） ・新型通勤車両「40000系」新造
ホテル・レジャー事業	32,567	35,200	+2,633	<ul style="list-style-type: none"> ・大磯プリンスホテル スパ棟新設 ・品川プリンスホテルアネックスタワー（客室・ロビー・レストラン改装） ・ザ・プリンス パークタワー東京（ロビーラウンジ改装） ・グランドプリンホテル京都（客室・ロビー・レストラン他 改装） ・北海道カントリークラブクラブハウス新設
不動産事業	73,107	29,800	△ 43,307	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）西武鉄道池袋ビル（継続中） ・所沢駅東口駅ビル（継続中） ・エミリブ鷺ノ宮
建設事業	441	700	+259	
ハワイ事業	7,453	6,200	△ 1,253	・プリンスワイキキ 全面改装
その他	3,090	6,700	+3,610	・近江事業 守山駅前複合商業施設
戦略投資枠	－	15,000	+15,000	
調整額	△ 5,087	1,900	+6,987	
設備投資 合計	138,915	129,200	△ 9,715	

鉄道業 営業指標予想

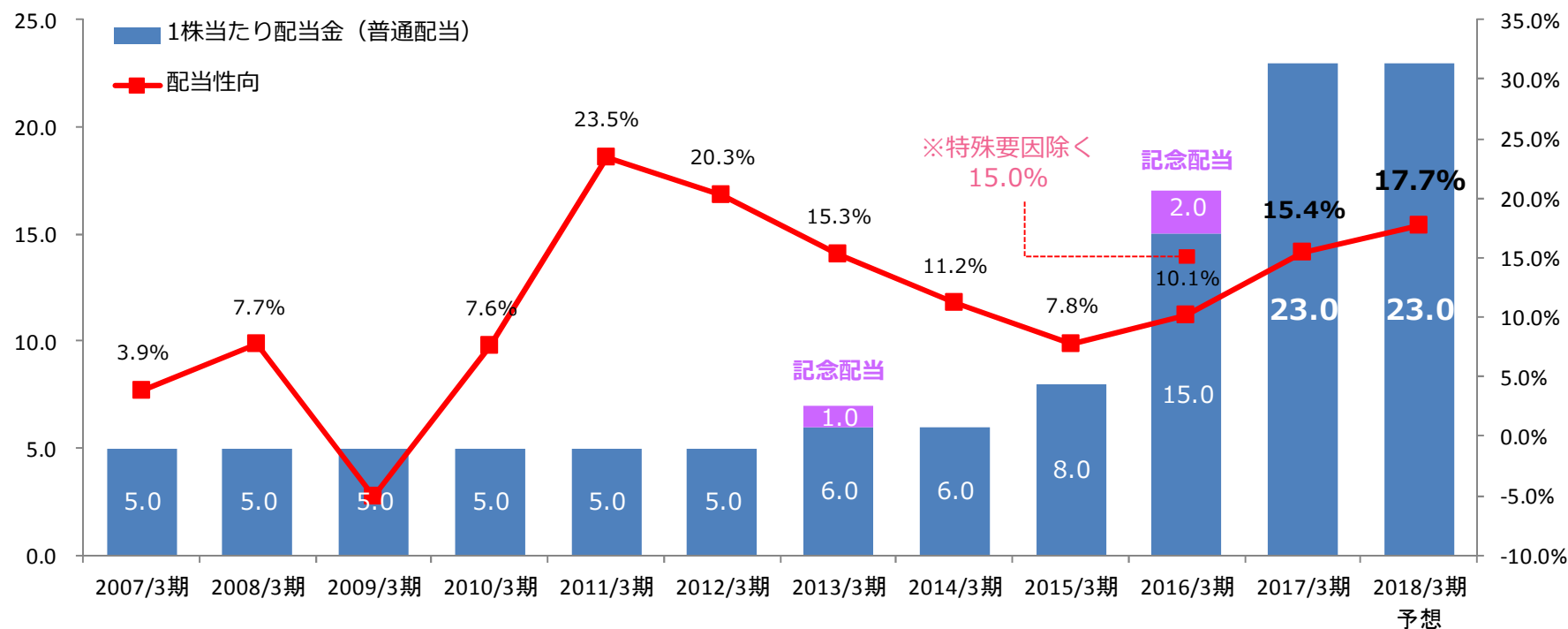
(人員単位：千人、金額単位：百万円)

鉄道業 (西武鉄道株式会社)		2017/3期	2018/3期 予想	対前期
輸送人員	定期	405,526	411,658	+1.5%
	定期外	242,893	245,625	+1.1%
	計	648,420	657,284	+1.4%
旅客運輸収入	定期	44,333	45,045	+1.6%
	定期外	53,356	54,291	+1.8%
	計	97,690	99,337	+1.7%

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2017年3月期の主な取り組み	P7
III. セグメント情報及び営業指標	P10
IV. 決算実績詳細	P22
V. 2018年3月期 連結業績予想	P29
VI. 当期・次期の配当	P35

当期・次期の配当

安定継続した配当を実施（配当性向15%目安）
 成長に資する投資を積極的に実施し、株主価値の極大化を目指す



※特殊要因 安比奈車両基地整備計画の廃止決定に伴う減損損失・求償債権計上益・税率変更